

中学校 美術科 の事例

設定した言語活動を通して育てたい力

- 自分の価値意識をもって批評し合い、作品の見方や感じ方を深めることができる。

思考力、判断力の育成

- 学年 第3学年
- 題材名 キミならどれを選ぶ？
- 本時の目標 総合的な学習の時間の発表を収録したDVDのジャケットにふさわしいデザインを造形的な視点から選ぶことができる。
- 学習の流れ (1時間目/全2時間)

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時のめあてを確認する。 作品を選んだ理由を分かりやすく説明しよう	・「何だろう？面白そうだな」という場の設定を工夫する。	
2 効果的に表すための基礎的・基本的な知識及び技能について確認をする。	・色彩から受ける印象と配色の効果、イメージに合ったレタリング、レイアウトの工夫などの視点を提示する。	
3 参考作品を鑑賞し、作者の表現意図を考えながら自分のイメージに合った作品を選ぶ。 ○ フリップボード 2枚から3枚に自分の考えをまとめる。 ○ 班内で順に自分の考えを伝え合い、見方や感じ方を広げ、相互に学びを深める。 ○ 数名が全体で発表する。	・個々にDVDのジャケットの完成見本を手にとらせ、イメージを具体化させる。 ・そのデザインに込められた思いを感じ取らせ、造形的な視点で、気づきや考えたことを整理させる。 ・友だちとの交流を意識して書かせる。 ・キーワードで書かせる。 ・根拠を明らかにして発表させる。	・色彩、レタリング、レイアウトの工夫など、造形的な視点に着目して選んだ根拠を明確にしながら作品の見方や感じ方を深めている。 〔鑑賞の能力〕 (発表内容、ワークシートの記述)
4 本時の学習を振り返り、まとめをする。	・選んだデザインについて、造形的な視点から新たに気付いたことをふまえながらまとめさせる。	
5 次時の学習を知る。		

言語活動の充実

指導のポイント

〔共通事項〕で分析させる

- 〔共通事項〕を活用し、「形や構成の工夫について」「色彩の工夫について」「イメージについて」の3つのポイントで作品を分析させてみましょう。生徒は、作品を分析的にとらえることができるとともに、言葉にすることで、自分の感じ取ったことや考えを整理することができます。

理由

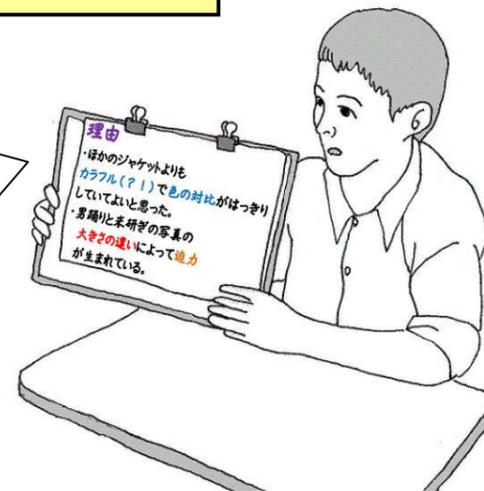
- ・ほかのジャケットよりも **カラフル** (色彩豊か) で **色の対比** がはっきりしている。
- ・男踊りと米とぎの写真の **大きさの違い** によって **迫力** が生まれている。

「相手に分かりやすく」「キーワード」を意識させる

- 自分の考えや思いを友だちに伝えることを意識しながら、フリップに簡潔にまとめさせます。**形や構成、色彩などを意識させながら「相手に分かりやすく」**まとめさせます。また、感じ取ったことや考えたことなどを「**キーワード**」で書かせることで、自分の考えを整理することができ、相手にも伝えやすくなります。フリップを活用した鑑賞をとおして美術科における思考力をはぐくみ、表現における発想や構想の能力、創造的な技能を高めることに繋がります。

「フリップボード」を使ってみよう

「フリップボード」を使用して発表することで、「かく(書く・描く)力」「話す力」「聞く力」が高まります。



フリップ作成のポイント

- 相手に見えやすいように文字の大きさは5cm程度。
- 途中で書き足すことも可能。

新学習指導要領では

〔共通事項〕の視点から生じたイメージを大切にして鑑賞することを重視

- 今回の改訂では、〔共通事項〕を設け、「B鑑賞」において、**説明したり批評したりする**等の言語活動の充実があげられています。
- 本事例では、イメージに合うデザインの作品を選ぶ活動の中で〔共通事項〕に示された形や色彩、材料などを意識させ、作品から受けるイメージを分析的にとらえさせることとしています。そうすることによって生徒は自分なりの思いや考えをもつことが容易となり、選んだ理由を説明したり批評したりする活動もスムーズに進めることができます。